

令和8年度 委託研修について

1. 支援団体の職員向け

(1) 支援団体統括者セミナー（日本医師会に委託）

目的 医療事故調査を行うにあたっての正しい知識及び技能の習得に加え、医療事故調査制度を牽引する各地域の統括リーダーを養成し、その結果、標準的な考え方や調査方法が各地域で波及する。

対象者 各都道府県担当者

日程 未定

方法 未定

○令和7年度実績

日程 令和8年3月1日（日）

方法 日本医師会館よりインターネットによるライブ配信

受講者 各都道府県より4名程度 計148名

＜受講者内訳＞

支援団体の代表としての都道府県医師会の担当役員 39名

院内調査の支援を担う基幹病院などの代表者 27名

地域の看護職の代表者 31名

都道府県医師会事務職員 28名

計125名（回答率84.4%）

2. 医療機関の職員向け

(1) 管理者・実務者セミナー（日本医師会に委託）

目的 医療事故調査を行うにあたっての知識及び技能の習得に加え、医療事故調査制度を牽引する各医療機関の管理者及び医療安全担当者等の実務者を養成する。

対象者 医療機関管理者及び医療安全担当者等の実務者、もしくはこれに準ずる方

日程 未定

方法 未定

○令和7年度実績

日程 令和7年12月7日（日）

方法 日本医師会館にて参集、およびeラーニング

全講義受講修了者数 計1,465名

＜職種内訳＞

医師645名、歯科医師13名、看護師531名、助産師35名、薬剤師43名、臨床工学技士28名、診療放射線技師22名、事務職115名、その他33名

＜役職内訳＞

管理者404名、副院長128名、医療安全管理部門 部長123名、医療安全管理部門 519名、医療安全部門以外役職者237名、その他54名

※受講者1,721名のうち初めて受講1,344名

(2) 医療事故調査制度研修会（日本歯科医師会に委託）

目的 歯科診療所及び病院内の歯科口腔外科における医療事故調査制度の対応について、歯科の特殊性を考慮した事例を提示し、医科との適切な連携のあり方、また院内調査に対する支援と報告書の作成など、全国の歯科医療機関に関わる医療関係者の人材育成を図る。

対象者 歯科医師、歯科衛生士等、歯科にかかる医療安全及び医療事故調査等支援に関する業務に携わる者、またはその予定の者及び上記以外の医療関係者等

日程 未定

方法 未定

参加者予定数 100 人程度

○令和 7 年度実績

日程 令和 8 年 2 月 24 日（火）～ 3 月 13 日（金）

方法 収録動画オンデマンド視聴 3 時間 10 分

受講者 114 名

<職種内訳>

歯科医師 108 名、歯科衛生士 4 名、その他の医療者 2 名